

真澄会報

発行所
横浜市西区岡野1-5-8
神奈川県立
横浜平沼高等学校
同窓会 真澄会
発行責任者 鈴木宏司
印刷 (株) サラト

真澄会ホームページ
http://www.masumikai.org

同窓会は皆様の会費で運営しています。会費納入にご協力ください。

鈴木会長が再任 新体制で2期目スタート



平成24年度 総会

懇親会で弦楽三重奏も

平成24年度総会が5月20日午後1時30分より、母校小ホールにて104人の参加で開催された。冒頭、司会の加藤理事(65期)から5月8日に急逝された中村睦夫理事(通27期)に対して哀悼の意が表せられた。次に鈴木会長からは、校長として会員が赴任



されたのは初めてのことであり、喜ばしい。110周年記念7事業のうち、最後のひとつ「記念誌」が立派に出来上がった。11月かながわ芸術劇場で開催の「青春かながわ校歌祭」は主幹校となつて行なう一などを内容とする挨拶があった。

4月に母校校長として着任された小野力(71期)名誉会長からは、副校長と二人そろって会員であること意義、真澄会の学校協力への謝意、生徒数進捗状況、ハンドボール部の活躍等のご挨拶があった。若杉理事(53期)が議長として選出され、議題



の1号議案から6号議案まで、全員の承認をもって議事は滞りなく終了した。役員改選の件については、承認後、新理事の紹介があり、臨時理事会で、鈴木会長のほか三田、地葉、松永各副会長の新体制が承認された。

和やかに懇談
懇親会はホテルプラム/コスモYに場所を移して午後4時から開宴された。母校から小野校長、荒井副校長、上林教頭、退職された荒井前校長の4人、そして顧問、会員、109期生の新入会員ら総勢150人余の参加者があった。



続いて新理事の紹介があり、退任の理事には記念品が贈られ、その労をねぎらった。最後に新会員が舞台上で校歌を歌い、小野校長による、元氣あふれる「応援のエンル」でお開きとなった。

秋の校歌祭を運営 真澄会が実行委員長に

本年度第7回校歌祭は真澄会が実行委員長校として、校歌祭を運営・実行することになりました。「青春かながわ校歌祭(以下、校歌祭)」は、「かながわ校歌祭振興会」が母体となつて実施しています。真澄会は「校歌祭

裏方をはじめ、様々な役割に係わり、参加校同窓会の皆様方に気持ちよく歌い、そして楽しんでいただくよう、盛り上げていきます。「総合司会」はNHKラジオ深夜便でおなじみの遠藤ふき子さん(61期)、「校歌祭開会ファンファーレと

比べて大変活発で、充実していると感じております。今回は何倍にもなる仕事量と重い責任があります。今回参加校26校のご協力の下に、1月から準備を進めているところであります。本番では舞台

アトラクション演奏」は吹奏楽部OB会「ぬらひま代表鎌田健二郎さん(76期)」が出演いたします。真澄会合唱団は、横浜にちなんで「赤いくつ」と「野毛節」を混声四部合唱で歌うことになり、9月8日(土)から5回の練習を重ねます。

6面に第6回の様子に掲載されています。(校歌祭担当 R・E)

校歌祭の開催日時
平成24年
11月25日(日)
11時30分(予定) 16時
会場：神奈川県立横浜平沼高等学校
(横浜市西区 山下町281)

継続と新風 さらなる発展を



会長 鈴木宏司 (59期)

今年度早々に大変喜ばしい出来事がありました。横浜平沼高校は112年の長い歴史の中で初めて同窓の校長を迎えたのです。新校長の小野力氏は本学71期生で第29代目の校長ということになります。横浜平沼高校、そして学校と

今年度真澄会は、11月25日(日) 神奈川県立横浜平沼高等学校で行う「第7回かながわ青春校歌祭」を主管することになりました。過去6回、幹事校の一つと

真澄会の名を傷つけぬよう会員一丸となって頑張る所存です。当日会場にぜひ足を運び下さい。他校と情報交換する中、真澄会の活動は他に

母校創立110周年記念誌「ひらぬま」が発表されました。創立100周年を祝った2000年から2010年度までの母校と真澄会の記録をB5判150ページの収録(61期)のみに。細水亨氏(61期)の協力により写真が豊富に使用されて見ごたえが

母校創立110周年記念誌発行
本年3月1日付けで母校から創立100周年記念誌「ひらぬま」が発表されました。創立100周年を祝った2000年から2010年度までの母校と真澄会の記録をB5判150ページの収録(61期)のみに。細水亨氏(61期)の協力により写真が豊富に使用されて見ごたえが

購入希望者には実費1,000円でお分けしています。購入方法は6面をご覧ください。(記念誌担当 H・N)

真澄会新体制

- 名誉会長 (内は卒業期)
- 会長 小野 力 (71)
- 顧問 山口 精一 (59)
- 副会長 三田 芳弘 (54)
- 副委員長 地代所達也 (59)
- 委員長 金子 和子 (54)
- 理事 平井 捷夫 (55)
- 遠藤 玲子 (71)
- 伊藤 真喜子 (71)
- 薄井 雅浩 (78)

- 総務委員会
- 副委員長 松永 弘子 (57)
- 委員長 石渡 祥男 (57)
- 理事 夏目 守宣 (53)
- 藤原 美満 (67)
- 泉 蜜昭 (33)
- 加山 キン子 (33)
- 佐々木 智三 (41)
- 林 さかえ (57)
- 野口 裕子 (60)

- 歴史資料委員会
- 副委員長 幸泰 (55)
- 委員長 地葉 満 (55)
- 理事 萩原 久美子 (67)
- 理事 泉 蜜昭 (33)
- 加山 キン子 (33)
- 佐々木 智三 (41)
- 林 さかえ (57)
- 野口 裕子 (60)

新任役員

- 広報 夏目 守宣 (53)
- 総務 金子 和子 (54)
- 総務 平井 捷夫 (55)
- 広報 石渡 祥男 (57)
- 総務 地代所達也 (59)
- 歴史 萩原 久美子 (67)
- 総務 平井 洋子 (71)
- 総務 薄井 雅浩 (78)
- 監事 林 さかえ (57)



「声の大きな校長」と言われた小野力(71)校長は、横浜平沼高校71期の卒業生です。母校の校長を務めるのは、平沼高校校史として初めてのことであります。前年度まで真澄会の理事を満期8年間務められました。110周年記念コンサートの日の受付でその大柄な姿をご覧いただいた方々もおられると思います。体育祭の開会式では、準備してきた人々への感謝、競技の安全、そして完全燃焼を、と生徒達を激励しました。前年度からは、荒井康雄副校長がおられます。母校69期の卒業生です。良い先輩とベストタッグを組んでください。チームワークを高めて、名コンビで平高生の意気を咲かせて下さい。(Y・M)

振子

校庭の藤棚が紫色の花をつけようとする頃、第29代の新しい校長が赴任いたしました。

小野力(つとむ)新校長は入学式の挨拶で今年度から、夢や希望を持って生きることを大切にする、心をはぐくむ学習として「いのちの学習」をおこないます。私たち、平沼高校職員は、皆さんの夢を実現させるための優しい夢の水先案内人になります。と述べるとともに、在校生の始業式では、運動部に入つて、体力をつけましょう。体力こそ知力のもつとです。と話していただきました。

評議員会報告

平成24年4月22日(日) 定例評議員会が母校小ホールにて開催された。議長に岩井未知男さん(74期)が選出され、議案について審議が行なわれ、原案どおり賛成多数で承認された。

納入率を高める協力をお願いしたい。 平成23年度 評議員会の開催 会場 母校小ホール 出席者 73名

平成23年度 事業報告

4月17日(日) 平成23年度総会の開催 会場 母校小ホール 出席者 88名 総会終了後懇親会開催 会場 横浜国際ホテル 出席者 124名

平成24年度 事業計画案

平成24年度事業報告 平成23年度決算報告 平成23年度決算案 平成24年度事業計画案 第四号議案 第五号議案 第六号議案

【母校支援・後援】

卒業生に記念品贈呈(校歌・応援歌のCD) 活躍する部活動生徒に激励金贈呈2件 母校行事後援・祝い金贈呈(健脚大会、壇上花、定期演奏会)

【定例事業】

定例理事会の開催と各種委員会の随時開催 節目の同期会開催に祝い金贈呈

【母校支援・後援事業】

卒業生に記念品贈呈(校歌・応援歌のCD) 活躍する部活動生徒に激励金贈呈



109期生新評議員 次の方が選出されました。 古賀 允也 網島 裕太 田代 仁美 館野 円花

決算書

予算

Table with 4 columns: 費目, 23年度予算, 23年度決算, 差額. Includes sections for 収入の部 and 支出の部.

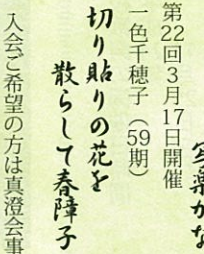
Table with 4 columns: 費目, 24年度予算, 23年度決算, 差額. Includes sections for 収入の部 and 支出の部.

歴史資料展示室企画展

「明治期の圖書作品からたどる 教師と教える」開催中 永森 邦雄(50期)

ますみ俳句会

学校法人 神奈川大学が 編纂している『17音の青春』(平成21年度版)を拜見します



松本道男(通1期) 観覧車花より出てて 花に入る 千葉英子(42期) 立春やひときわ高き 鳥の声

終身会費納入者

- 倉田研一(62) 山口(森園)玲子(62) 岩井善美(62) 榎崎一之(62) 石井英(62) 土屋隆一(通34) 尾根(安部)和子(61) 尾根(安部)和子(61) 尾根(安部)和子(61)

寄付金

- 倉田研一(62) 山口(森園)玲子(62) 岩井善美(62) 榎崎一之(62) 石井英(62) 土屋隆一(通34) 尾根(安部)和子(61) 尾根(安部)和子(61) 尾根(安部)和子(61)

目的別積立明細書

Table with 5 columns: 内訳, 前期繰越金, 当期増加, 当期取崩, 次期繰越金. Includes categories like 一般積立金, 母校後援積立金, etc.

学校だより



真澄会の存在は大きい

校長 小野 力

この4月に第29代校長として着任いたしました、71期生の小野力と申します。多くの先輩・後輩の皆様、どうぞよろしくお願...

見ない歴史資料展示室の存在や真澄会と連携した様々な学校教育について...

4月からは人生の一休みと考へ、今まで作成した教材を整理した...

卒業生の一人として、歴史と伝統ある母校の運営を任せられたことは、喜びであ...

あると共に、その重さを感じています。長い歴史と伝統により培われてきた校風を守りつ...

各方面で活躍している先輩の講演を聞く「先輩セミナー」は、在校生がこれから進路を考...

この4月に第29代校長として着任いたしました、71期生の小野力と申します。多くの先輩・後輩の皆様、どうぞよろしくお願...

見ない歴史資料展示室の存在や真澄会と連携した様々な学校教育について...

4月からは人生の一休みと考へ、今まで作成した教材を整理した...



お世話になりました

前校長 荒時 治夫

平成21年度から平成23年度までの3年間、真澄会の皆様の絶大なご協力とご支援をいた...

また、校長である私をまるで真澄会員のよ...

事尽全力でぶつかり互いに切磋琢磨していくことで、生徒たちは自...

大会は6月2日に中央大学体育館にて行なわれ...

横濱平沼高校がマレーシア修学旅行を始めて3...

「現地高校生ガイドとの自主行動」「カンポン訪問によるショートステ...

「立ち上げ、みんなの笑顔が見たいもの」

秋・冬の各季節に分かれた団体対抗競技が開始...

戦)。各組それぞれが工夫を凝らしたダンスパフォーマンスがグラ...



ともに生徒達の後押しを

教頭 上林 正明

真澄会会員の皆様、4月1日に県教育委員会教育指導部高校教育指導課より着任いた...

日本の諺には、「二兎を追う者は一兎を得ず」とありますが、平沼高...

大会は6月2日に中央大学体育館にて行なわれ...

横濱平沼高校がマレーシア修学旅行を始めて3...

「現地高校生ガイドとの自主行動」「カンポン訪問によるショートステ...

「立ち上げ、みんなの笑顔が見たいもの」

秋・冬の各季節に分かれた団体対抗競技が開始...

戦)。各組それぞれが工夫を凝らしたダンスパフォーマンスがグラ...

戦)。各組それぞれが工夫を凝らしたダンスパフォーマンスがグラ...

2011 進路状況

Table with columns for University Type (National/Public, Private), Degree Level (Short-term, University), and Status (Qualified, Enrolled). Rows include current and previous year data.

Table listing university names and the number of graduates for each category.

Table listing staff members and their roles in various departments.

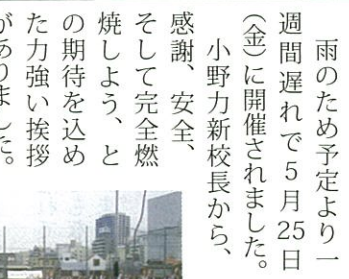
活躍する在校生

真澄会奨励金贈呈 平成23年度下半期分 弓道部



第17回復活体育祭

総合優勝組! 応援台戦毛



第36回平沼祭

立ち上げ、みんなの笑顔が見たいもの

秋・冬の各季節に分かれた団体対抗競技が開始...

戦)。各組それぞれが工夫を凝らしたダンスパフォーマンスがグラ...



ハンドボール部の活躍 45年振り「関東大会出場」

大会は6月2日に中央大学体育館にて行なわれ...

横濱平沼高校がマレーシア修学旅行を始めて3...

「現地高校生ガイドとの自主行動」「カンポン訪問によるショートステ...

「立ち上げ、みんなの笑顔が見たいもの」

秋・冬の各季節に分かれた団体対抗競技が開始...

縦のぎずな O B 会 同好会

バスケット部

蓮田 亮大(90期)

今年も昨年同様、初夏のBQ大会や夏休みに現役交流会を予定しております。現役生と、バスケットを通じて、同じ汗を流し、当時の思い出を話し合う交流会もいよいよ恒例として定着してきました。昨今の部活動離れを吹き飛ばすべく、大いに盛り上げていきたいと思っております。後援会「球信」も、全国のバスケット部卒業生から寄稿していただいております。こうした事を通じて全国の多くの仲間と結びつきを維持し、続けることを考えております。



今年も趣向を凝らし、なお一層楽しい時間を分かち合いたいと考えております。皆様の参加をお待ちしております。

柔道部

久保田 昌海(78期)

わが柔道部は今年で創立62年、平沼柔友会は創立45年目となります。主な活動は隔月行われる現役との合同練習会と、年一回行われる総会および懇親会です。合同練習会ではOBも昔のようには体が動きませんが、自分が先輩方から教わった技術は全て後輩に伝えるべく、愛情と熱の入った稽古が行われます。去る6月9日、総会が開催され、参加者は40名を超え、最年長の先輩と



交を深めました。来年度も、2月上旬の土曜日に新年会を行う予定です。残念ながら平沼高校の体操部は現在、活動しておりません。しかし、体操部が復活した暁には、また新しい代の卒業生を迎えてさらに体操部OB会を盛り上げていきたいと思っております。

ハンドボール部

坂本 昌一(94期)

女子ハンドボール部が関東大会出場という念願を果たしてくれました。この成果は平沼高校としては17年ぶり、女子としては実に45年振りの快挙です。島田先生の指導の下、チーム一丸となつてつかんだ大舞台。

体操部

友谷 哲男(73期)

平沼高校体操部OB会(旧おけら会)では年一回12月に、様々な記事や写真・諸連絡を掲載したOB会の会報を会員に発送しております。記事の内容は、高校生当時の部活動に対する思い、現在熱中している趣味について、会員同士での旅行譚などいろいろです。

また、何代かの卒業生ごとに幹事を設け、行事や活動内容の検討を行っており、新年会も毎年開催しております。今年度は2月4日(土)に横浜スカイビル・クルーズクルーズにて新年会を行います、新旧OB・OGの親

野球部

早福 久雄(57期)

今年も6月夏の県大会を前にOB会総会と現役選手激励会を開催した。先日、大先輩から「ここ数年我が母校野球部はどうなっているのだ。秋・春の県大会にも出られず、夏はアツと言う間に姿を消す。同じ県立の他校が頑張っているのを見ると情けない。OB会がもっとしっかり指導しろ」と厳しいお叱りを戴いた。

昨年、OB会の絆は以前にも増して強くなっているが、現役との接点が多量に希薄になっている事、島田先生から手渡された。ある県立高校では現役の甲子園出場に備えて、毎年、会費から積み立てをされているとのこと、体育部OBの心情ここにあり。というはなしもある。我が母校も毎年、会費から多額の支援をしているが、更に現役、学校、OB会が三者一体となり、その絆を強固に甲子園出場への夢を追いつけてい。OBも県立5校対抗戦に参加して、今年こそ優勝する。



壮行会では支援金の贈呈や大先輩によるエールでOB会の思いを託し、また現役生からの熱い意気込みを聞くことで新旧の一体感を増しました。迎えた大会当日、遠方ながら集った大勢の父母やOBが全力で声援を送り続けました。結果は1勝を挙げ、ベスト16まで進出しました。関東大会への出場はOB会にとつて活動を幅広い世代へと浸透する契機となりました。今後とも繋がりを持ち、部を支援する活動を展開して行きます。

ソフトボール部

高橋 節子(75期)

1月7日(土)にOG新年会が開催され、井上祐光先生、栗原博博先生、上野正起先生他、OG28名、子ども6名、総勢40名が集まり例年通り前半はグラウンドで親睦試合、後半は真澄会室で懇親会を行いました。



上羽先生がプレゼントを持ってきて下さいました。教職員男子更衣室のロッカーの上に置いてあった段ボールの中から発見された桶です。横浜市ソフトボール協会から2000年11月にいただいた、『優秀チーム賞』の桶(写真)が、12年ぶりにソフトボール部の手に届きました。「現役の時だったら全校生徒の前で校長先生から手渡されたのに……」1976年東日本大会出場以来の偉業だね。などと、会話が弾みました。



来年度の開催は、1月5日(土)の予定です。

山岳部

浅井(天野裕司)(66期)

山岳部のOB会は横濱平沼山岳会という名前で行っています。

山岳部OBを中心に高校在学中に山岳部の活動に参加した方、山岳部OBの配偶者で参加を希望する方など、普通のOB会に比べると、間口を広げて活動しております。山岳部創部当時の自由闊達な平沼高校の特色を引き継いだ素敵なOB会であると自負しています。9月には福島県の西吾妻山への夏山合宿を計画しています。

吹奏楽部

鎌田 健二郎(76期)

吹奏楽部OB会「横浜ぬらひま団」もいよいよ来年度で結成30周年を迎えることとなりました。創立以来、74期の塚田聡志氏を音楽監督及び指揮者に迎え、最近では年に一回演奏会を開いています。去る6月24日には栄公会堂において、第25回吹奏楽演奏会「ぬらひま25」を開催いたしました。



第1部では、開催中の「横浜フランス月間」にちなみ、フランス人作曲家特集として、サン＝サーンスやマサネの曲を取り上げて演奏いたしました。

放送劇部

定仙 勝弘(59期)

放送劇部はNHKや民放連などのコンクールで輝かしい成果を挙げた歴史を持っています。昭和32年卒(54期)から37年卒(59期)までの当時のメンバーで毎年新年会を開催しております。OBよりOGが強かったので、「GOBO会」と命名されました。



30人余りの会員の中で4組の夫婦が誕生するなど、強い絆で結ばれ「互慕会」のイメージが強かったようですが、今年の新年会は、旅行や趣味、孫の話に交じって、癌治療や遺言状作成など、年齢を感じさせる話題に花が咲きました。

38期

卒業後から70年 粕谷(河合政子)(38期)

卒業以来70年、例年の同期会を3月下旬に米寿の祝を兼ねてと、早めのお知らせを致し、皆様からの出欠のご返事もいただき、その日を楽しみました。3月11日、思いもよらぬ東日本大震災、原発、あまりの大災害に同期会どころ



ではないと延期、収束を念じつつ結局9月15日に崎陽軒本店で開催いたしました。喜寿の時は「ホテルニューグランド」で賑やかに37名でしたが、齢を重ねるにつれ今回は病気の方、それに未だに時々余震もある方で、健康な方でも遠出を心配される

39期

米寿に乾杯 平沼 登喜江(39期)

平成23年10月25日同期会は崎陽軒本店で開催しました。日頃は電話での声のお付き合ひの再会に戸惑いと懐かしさに手を握りしめの出会いです。今回の連絡は電話のみで進めました。



20名の顔が揃いました。今日の会に出席出来た幸せに「乾杯」。

紙面の都合で原稿の一部を割愛したことを、お詫びします。

46・47期

傘寿祝い65人 真鍋 恭子(46・47期)

昭和19年入学の同期会は10月27日にみなとみらいのパシフィックで開かれました。東日本大震災で、5ヶ月延期。被災された方々は残念ながら欠席でしたが、65人がそれなりに元気に集りました。



昭和19年入学の同期会は10月27日にみなとみらいのパシフィックで開かれました。東日本大震災で、5ヶ月延期。被災された方々は残念ながら欠席でしたが、65人がそれなりに元気に集りました。傘寿を祝った私達が、何となく傘寿を迎えたのです。この祝いの宴は総料理長お心入れのフルコース、最高のご馳走でした。終わりにになりましたが、真澄会からお祝いを頂き、クリアファイルには早速、届いたばかりの記念写真を入れることが出来ました。有難うございました。

方もあり、欠席が多く、ご出席は12人でした。然し、何十年も経ちましても純真な女学校時代の友は、本当に得難い懐かしさ、楽しさに溢れ嬉しうございました。二次会のあと、これからはいろいろな形で集まりの機会が続きますようお互いに励ましたまいました。なお、会終了後、福島県災害対策本部宛に神奈川県立横濱平沼高校38期生一同として義援金を送りしました。

第6回 青春かながわ校歌祭

第6回青春かながわ校歌祭は昨年9月23日、中区山下町の「神奈川県芸術劇場」で、24校の参加により開催されました。

会場はホールまで行くのに手間取るなど動線がやや悪く感じられました。また、立派な施設は「祭」の会場として華やかさを添えていました。

鉄砲隊に扮してノーエ節を歌うなど、パフォーマンスを取り入れた工夫や練習の成果と思われる歌いぶりなど、各学校同窓会がこの校歌祭に熱心に取り組んだ様子がかうかがえました。

24年度の主管幹事校は

平沼高校と決定しており、最後に実行委員長の小田原高校同窓会長と、真澄会長とが固い握手を交わし、次回への引継ぎを新たにしました。

(一面に関連記事)

最後から3番目の出場の平高は「校歌」と「花の街」を熱唱、いつもながらの格調高い歌声を響かせ、翠嵐高校とのエール交換も盛り上げました。



格調高い歌声を響かせた合唱団と翠嵐高校とのエールの交換



格調高い歌声を響かせた合唱団と翠嵐高校とのエールの交換

お宝資料紹介

真のハ

「第一高女の心意気」

今回のお宝は、ものではなく、心意気です。昭和17年春開かれた真澄会の集合写真。開戦後半年が過ぎいよいよ国内でも戦時色が強まり、「欲しがりません勝つまでは」、「賢沢は敵だ」のスローガンのもと、国民生活全般にわたる我慢が強いられ、ご婦人方の髪型、化粧、服装についても自粛が求められました。

そのようなご時世の中で開かれた真澄会にもかわらぬ、旧校舎の心字池の周りに集う同窓生の姿は、髪型、服装も綺麗に着飾り、とても華やかかつ和やかな雰囲気を感じさせています。これは、だんだん暗くなる世相に、これが最後の装いと、ご時世にささやかな抵抗を試みた第一高女の心意気を示した写真です。

以上は39期生からお聞きした内容で、写真は第一展示室に展示されています。

そのようなご時世の中で開かれた真澄会にもかわらぬ、旧校舎の心字池の周りに集う同窓生の姿は、髪型、服装も綺麗に着飾り、とても華やかかつ和やかな



会員作品紹介

写真・絵画・書・アート作品など募集しています。

日本画「運河の街」 竹内靖子画集より



竹内(小島)靖子 46期



書「無中有路」 第47回賀墨書展 榎本 治義 66期

貴重なお琴の寄贈

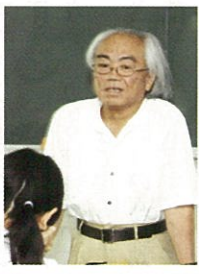
平成23年3月、藤田(平井)ちづさん(45期)より、大切にされていた貴重なお琴が真澄会に寄贈されました。

TBSニュースキャスターとして活躍中の三雲孝江さんのお母さん三雲(平井)ハマさん(40期)と藤田さんはご姉妹です。

現在、平沼高校音楽室に置かれ、音楽の授業の中でお琴の演奏に活用されています。



先輩セミナー



私は現在、大学の通信教育部でプロダクトデザインを教えています。大学の通信教育部では、働きながら学ぶ事ができます。また専門学校に通いながら大学教育を受ける事ができます。現在、高齢化が進み、成人病が原因で命をとりとめても障害を

持ったまま生きつづける方々や認知症にかかった方々が多くいらっしゃいます。リハビリテーションは、このような患者さんが元の日常生活に戻るまで回復させてあげる事が仕事になります。そのための様々な訓練道具の制作や日常生活を支えるための自動具の制作もリハビリテーションを行なう療法師の仕事になります。

また、クーラーの室外機は絶えず外へ熱を放出しています。これら負の側面は、なかなか現在のようないかに社会の中でエコロジックなデザインを考へる事も工業デザインの仕事です。工業デザインという言葉と外観にかかわる意匠というクリエイティブな側面が強調さ

れませんが裏では大変な仕事がたくさんあります。デザイナーは、企業経営(CI)のイメージ戦略も考えています。ユーザー企業にイメージを受け入れてもらえないと、企業は物を売ることができない時代になってしまいました。そこで、企業にマイナスのイメージが形成されない様に、リスキマネジメントもしています。

ハンドのある人たちも、みなさんと同じ生活ができる様に環境を整える必要があります。障害はひとつの個性であり、偏見を持つてはいけません。パラリンピックでは、障害を持つていても努力して頑張っています。最新の研究では、IPS細胞が神経細胞を再生できる様になるか期待がもたれています。

右脳の機能が失われると左脳が機能を補ってきています。人間の持つてくる治癒力を手助けしてあげる事が大切ですが、従来のリハビリの器具は単調になります。患者さんにはリハビリが嫌になってしまいが、そこで私が試作したリハビリ器具はゲーム性を加味して、患者さんが

リハビリテーションについて

工業デザインの仕事

福祉デザインについて

最後に

楽しむものにしてあります。

たいと思います。

23年度 講演日 平成23年9月22日(木)

- 講師陣 写真左から
- 有賀太重 72期
 - 江藤耕一 62期
 - 稲葉次郎 55期
 - 鈴木宏明 58期
 - 吉原直樹 71期
 - 笠原勝二 72期
 - 岡 有作 63期

24年度 講演日 平成24年11月22日(木) 予定

- 平澤エミ子 67期 染色家
- 山下 良則 71期 元システムエンジニア外資系企業勤務(英語で仕事)
- 井上 道雄 71期 元横須賀法務局 裁判委員制度広報官 東京家庭裁判所少年部次席書記官
- 太田 耕人 71期 京都教育大学英文科 演劇評論家、朝日新聞演劇評論委員
- 秋山 怜史 97期 建築家
- 菅原 由夏 103期 看護師、昭和大学病院のUICU・赤ちゃんの救命救急に勤務中

*自薦・他薦にかかわらず講師の方を募集しています。真澄会事務局までご連絡ください。

〈引き続き販売〉

110周年記念グッズ「キーホルダー」 1個 500円(110周年寄付つき)

「牛革製」えんじに銀色の校章がはいります。

〈記録をお手伝い〉

創立110周年記念誌「ひらぬま」 1部 1,000円(送料込み・代金後払い)

創立100周年を祝った2000年から2010年度迄の母校と真澄会の記録。

希望者は電話・ファックス・メールで真澄会事務局にお申込下さい。

編集後記

6月から真澄会報発行に携わり、送り届けられた原稿をじっくりと読んで、改めて母校伝説の重さを感じ、読み易く、誰からも好まれ、次回が楽しみな会報に仕上げたい、との思いを強くP.C.に向かいました。

1面に第7回青春かながわ校歌祭の案内を入れました。今年本校が主管校です。皆さん盛り上げていきましょう。

たった数行に思いを込められ届いた「真澄だより」心音がよく出ていますね。もつと紙面を扱ってほしいですね。お便りをお待ちしています。

会報54号全6面を楽しく会報になるようカラー化しました。

会員の皆様から内容のある原稿を多数いただきました。ありがとうございます。大きさが多少、小さく大きすぎたが、次回は文字を大きくして、より一層読み易い紙面にしたいと思います。

(Y・I)

好評! コンビニ振込みの会費納入

「コンビニ振込み」は手軽で便利です。皆様のお手許には「郵便」と「コンビニ」の2種類の振込用紙が届きますので、ご利用ください。ただし「コンビニ」は1,000円しか振込できません。2,000円以上の場合は「郵便」をご利用ください。

名簿業者にご注意!

真澄会では、2005年の名簿の発行を最後に、以降、名簿は発行しないことを理事会で決定しています。皆様のお手元にはガキ等で個人情報を確認することはありません。また、「人事新報社」なる業者は、真澄会とは関係がありません。各自、ご注意ください。

“こんにちは!” 真澄会事務局です。

事務局は、毎週火曜日に在室して事務を行っています。連絡事項やお問合せ等ありましたら、10時~15時の間にお電話ください。Tel/Fax: 045-311-3356 Fax回線が優先になっていますので、呼び出し音が長いですが、切らずにお待ちください。

事務局へのメールは jimukyoku@masumikai.org です。↑ 宜しくお願いします。

事務局 岸村恵子(71期) 高橋節子(75期)